



【資料名】 相撲取組四十八手一覽 (551丸亀市松田家収集文書 352)
 【年代】 明治38年1月8日発行
 【発行】 編集発行兼印刷者大阪市南区松尾町榎本松之助

デジタル資料室 相撲取組四十八手一覽

【解説】

四十八手とは相撲の決まり手のことである。正確には48手に限らず、時代によってその数はまちまちであった。現在では82手に決められている。本資料では、明治期の48手の決まり手が、ひらがな、ローマ字、カラーイラストで紹介されている。現在では耳なじみのない技がいくつもある。所々に変体仮名があるので、くずし字に興味のある方はローマ字と見比べながら読み下してみてほしい。

【翻刻文】

相撲取組四十八手一覧

(一段目)

かものいれくび
むかふづき
すくひなげ
さかてなげ
ぎやくなげ
なげ
つまとり
さまた
たぐり
けかへし

(三段目)

もちだし
ひきこまはし
とひちかひ
そとかけ
横綱土俵入
大わたし
こしくぢき
しぎのはがへし
きぬかつぎ

(五段目)

くびなげ
のぼりかけ
はりまなげ
ひねり
かけなげ
した手やぐら
とあし
くぢきたをし
かはずかけ
うちむそう

(二段目)

かたすかし
ためだし
みどろづめ
うちかけ
かひなひねり
だし
ひきまはし
しゆもくそり
そくびをとし
はたき

(四段目)

四ツつかひ
まかひつきだし
たすきそり
つゝきけかへし
うはすすかし
しきこまた
つきやぐら
そとむそう
てうのかけ
をひなげ